高崎市
TAKASAKI CITY

寄り添う・たかさき SOS 困っている人はすぐ助ける

ぐんま愛

高齢者ごみ出し ～週一度 自宅訪問～

中村ぜんさん（90）はサービス開始当初から利用している。「雨の日もまとめて玄関先に置いておけば収集しに来てくれるので、とても助かっている」と感謝する。

2年前に夫を亡くし、現在は一人暮らしをしている。近くに長男夫婦が住んでいるため、日常生活にあまり不安はないが、10年ほど前から右膝が悪く、歩行には手押し車が欠かせない。

「危険物は重いので運ぶのが大変だった」と、ごみ出しが負担になっていた。燃やせるごみも量が多い時は手押し車を使いながらでは一度で運びきれず、自宅とごみステーションを往復することもあった。

それでも、ステーションが自宅近くにあることから、初めは利用をためらったが、地元区長の勧めで利用を決めた。「運動も兼ねて週に1回くらいなら平気だろうと考えていたが、転んで寝たきりになってしまったという高齢者の話も聞く。無理してけがをしてしまったら、家族に心配をかけてしまう。サービスを利用して良かった」

収集員との会話を楽しみながらサービスを利用する中村さん（右）

＊見守り役も＊

収集時には、収集員が声掛けをするなど高齢者世帯の見守りの役割も担っている。中村さんは「毎回、『元気ですか』と声を掛けてくれるので、今では世間話をするのが毎週の楽しみ」と笑う。

高齢者ごみ出しSOSサービスは指定のごみステーションへのごみ出しが困難な人々を支援しようと、2020年から始まった。週に1度、決められた曜日に収集員が自宅を訪れ、無料でごみを収集している。防犯対策として、専用の帽子や衣服、身分証を着用して業務に当たっている。

対象は70歳以上のみの高齢者世帯だけでなく、「乳幼児の子育てで指定時間までのごみ出しが難しい」といった声もあり、妊娠期や3歳未満の乳幼児がいてごみ出しが困難と認められた世帯、障害がある人のみの世帯も利用できる。

収集するごみの種類は燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源物、危険物となっている。

●連絡先
TEL.027-321-1253（一般廃棄物対策課）

ヤングケアラー ～チームで最適支援～

病気や障害のある家族の介護やきょうだいの世話をする18歳未満の子ども「ヤングケアラー」。家庭の事情により日常的に大きな負担を強いられ、学業や友人関係などへの影響が懸念されている。

市は、市立中学・高校の校長に行った聞き取り調査で各校1～2人のヤングケアラーの可能性がある子どもがいることを把握したという。ヤングケアラーSOSサービスは、日常生活で困っている子どもたちに救いの手を差し伸べようと、今年9月からサポーター派遣を全国に先駆けて本格的にスタートさせた。

相談があった子ども1人ごとに、子どもとその家族を支援する機関の担当者らによるワーキングチームを設置し、それぞれの状況に適した支援を検討。有識者で構成するヤングケアラー支援推進委員会で審議し、支援内容を決定している。

チームの一員でサポーター派遣の調整などを担うケアサプライシステムズ（島野町）の中嶋友紀さん（47）は「事情によって支援の仕方や内容も変わってくる。子ども本人や家庭が抱えている問題を丁寧に聞き取りながら、子どもたちを支えるサービスを提供したい」と話す。

＊「自分の時間楽しんで」＊

病気を患う親に代わり家事などをしている子どもへの支援では、サポーターが掃除や洗濯のほか、日用品の買い物、食事の用意などをしている。支援に携わったサポーターの黒沢千歳さん（49）は「初めのうちは手伝いに入っても、自分でやろうとしていたが、次第に任せてくれるようになり、今ではテレビを見てくつろぐ姿を見せてくれるようになった」と子どもの変化を語る。「私たちが訪問している間だけでも自分の時間を楽しんでほしい。相談しにくいこともあるかもしれないが、頼れる大人がいることを知ってほしい」。黒沢さんはこう呼び掛ける。

対象は、市内在住の中学生と高校生（要望があれば小学生も対象）。生活の援助や家族の介護、幼いきょうだいの世話などの支援をするサポーターを無料で派遣する。利用は1日2時間、週2日まで。

利用者宅で洗濯物を畳むサポーター

●連絡先
TEL.027-321-1170（学校教育課ヤングケアラー支援担当）

サービス事業

かゆいところに手が届くような社会福祉、子育て支援施策を推進する高崎市。それを象徴する「SOSサービス事業」は介護を皮切りに、子育て、高齢者ごみ出しと続き、今年9月からは新たにヤングケアラーに広げた。

「困っている人に温かい手を」―。人口約37万人の県内最大都市はハード面の充実だけでなく、ソフト面でも先進的な取り組みを展開する。

【SOSサービス事業内容】

- 介護
- 子育て
- ヤングケアラー
- 高齢者ごみ出し

子育て ～掃除 調理で負担軽減～

5歳の長女と1歳の長男を育てる入沢智奈美さん（33）は、3年ほど前からサービスを利用している。週2回ほど、家の掃除や洗濯物の整理などを依頼する。

長男がまだ幼く、共働きのため、家事に手が回らないことが多く、やりたくてもできないことがストレスだという。

「子どもを風呂に入れて出てきたら、部屋がきれいになっているので気分も明るくなる。子どもたちもヘルパーさんになついていて、来るのを楽しみにしている」とサービスに助けられている。長男を妊娠中にも利用。「つわりで体調が悪い時は、本当に助かった」と振り返る。子どもが幼いうちは、人と接する機会も減る。「話し相手にもなってくれるので、ストレス発散になった」

＊「気持ちに余裕」＊

共働きで4歳の長女を育てる大倉千幸さん（46）は、週末に2時間利用する。部屋の掃除や食事の下ごしらえなどを依頼することが多い。

「ヘルパーさんとの2馬力で家事を片付けられるので、気持ちに余裕が持てるようになった。家族でゆっくり過ごす時間が増えた」と話す。

サービスの利用を始めたのは、娘が1歳半を迎えたころ。1年間の育休を経て職場復帰をした時期で、夫は単身赴任で週末しか自宅に帰ってこられない中、仕事と子育て、家事の両立に息詰まってしまっていた。

最初は散らかっている家の中を他人に見せることに抵抗感があったが、「勇気を出して利用したら本当に楽になった。もっと早くから利用していれば良かった」。

初めての子育てで不安も多かったが、「子どもの食事の味付けや掃除の豆知識などを教えてくれてためになる。子育て経験者も多く、頼れる存在」と感謝する。

子育てSOSサービスは、子育て中の保護者の肉体的、精神的負担を軽減しようと、2019年に開始。妊娠期や就学前児童のいる家庭が対象で、1時間250円で利用できる。

ヘルパー（右）が洗濯物を整理している間、子どもと遊ぶ利用者

●連絡先
TEL.027-384-8009（専用ダイヤル）

介護 ～24時間365日対応～

神村容子さん（65）は、日常生活で介助が必要な母の大沢喜美子さん（90）のトイレからの移動や着替えなどで月に3回ほどサービスを利用する。

喜美子さんは昨年、自宅での転倒を機にトイレや着替えなどで介助が必要になった。日頃は容子さんが自力で介助をしているが、支えきれず床に崩れ落ちてしまうことがある。「床に座り込んでしまうと、私一人ではどうにもできない」。そんなSOSの状態の時、サービスを頼る。「夜遅くても電話してから15分くらいで駆け付けてくれて本当にありがたい」と感謝する。

認知症の母親（89）を介護する沢田恵子さん（66）は、法事や葬式で家を空けなければならない日に母の見守りを依頼した。「ヘルパーさんはベテランが多く、扱い方も上手。話し相手にもなってくれて、利用後は母も『楽しかった』と満足している。安心して任せられる」と笑顔を見せた。

自身の経験から、同じく介護をしている他の人たちにもサービスの利用を呼び掛ける。「SOSは料金も安く、気兼ねなくお願いできる。困ったときに利用できると思えるだけで気持ちが楽になる。これからも頼りにしたい」

＊宿泊サービスも＊

介護SOSサービスは、高齢者の在宅介護をする家族や介護者の負担軽減につなげようと、2016年から始まった。緊急な介護が必要になった際、24時間365日、電話1本でサービス実施事業者に登録されたケアサプライシステムズ（島野町）のヘルパーが訪れる。食事や排せつ介助といった身体介護、見守りなどの生活援助をする訪問サービスと、急な外出などで介護者が介護できなくなった際に利用できる短期の宿泊サービスがある。

利用料金は訪問が1時間250円、宿泊が1泊2食付きで2,000円（送迎付きは3,000円）。宿泊は社会福祉法人新生会（中室田町）とホテルサンコー（吉井町）の2カ所を利用できる。

大沢さん（中）の移動を介助するSOSサービスのヘルパーと娘の神村さん（右）

●連絡先
TEL.027-360-5524（専用ダイヤル）

富岡 賢治 高崎市長に聞く

子育て・福祉に温かい手を

―社会福祉、子育て支援施策に力を入れ、きめ細かい事業が目に付く。どういう時にアイデアを思い付くのか。

市町村は国と違い、目の前の困っている市民に直接、手を差し伸べている。中でも、高齢者の安心と子育て環境の向上は2大テーマだ。毎朝1時間くらい散歩をしていろいろなことを考えているが、その時に出会った人と話すなどして施策が思い浮かぶことがある。

―最初に介護SOSを始めた。

介護疲れで家庭が崩壊したり、仕事に行けなかったりというケースを周囲で目にしていた。市の職員でも仕事を頑張っているのに、介護で離職しなければならない人がいた。こういう人たちにどう支援の手を差し伸べるかを考え、介護SOSができた。

―子育てSOSにもつながった。

散歩中、若い母親から面倒を見てくれる人が周囲にいなくて大変という話を聞いた。私たちの世代からすると、苦労するのが親という考え方もあるが、共働きの親には余裕がない。仕事を終えて保育所に迎えに行き、家に帰ると疲労困憊（こんぱい）で何もする気になれないという。イライラすると、子どもにも良くない。そこで成功した介護SOSを応用し、電話1本で子育てのベテランが駆け付ける仕組みにした。依頼が多いのは1番が部屋の掃除で、2番目が料理。手が回らない状況が見て取れる。

―子育て環境の向上が市の発展にもたらす効果は大きい。

一般的に企業誘致の主な施策は税制優遇などに取り組む自治体が多いが、高崎市の決め手は街がきれいだということと、子育て環境の充実だ。中心市街地と子育て世代が増加している旧群馬町地域に設けた託児所は好評を得ている。理由を聞かずに預けられるので、デパートやコンサートなどに行っても構わない。リフレッシュしたり、視野を広げる時間も必要だ。いずれも利用者が多いので、3カ所目を検討している。散歩していたら、子育て環境の良さを評価して東京から移住してきたという母親に話しかけられ、感謝を伝えられたこともある。うれしい限りだ。

―弱い立場の子どもへの支援も積極的だ。

家族の介護や世話をする18歳未満の子どもを支援しようと、ヤングケアラーSOSを9月から始めた。調査や検討に時間をかけるよりも、まずは困っている子どもに早急に手を差し伸べたかった。高崎の子どもは高崎で守ろうと、独自の児童相談所をJR高崎問屋町駅近くで2025年度に設置する準備を進めている。家庭の問題に踏み込むのは大変だが、ちゅうちょせず行動する児童相談所にしたい。

―今後の施策の方向性は。

23年4月1日から高校生も医療費を無料化する。当初予定よりも前倒しすることができた。子育てと福祉は税金を投入する優先度が高い。民間と違って、多少効率が悪くてもやっていく必要がある。これからも困っている市民に温かい手を差し伸べ続けていきたい。

高崎市が進める主な支援施策

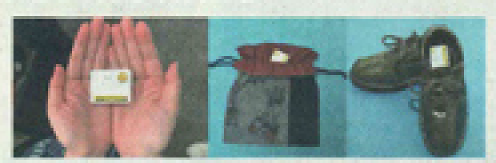
TAKASAKI CITY

子育て

- ●気軽に利用できる託児ルーム設置
- ●子育て支援の拠点「子育てなんでもセンター」
- ●18歳まで医療費を無料化（2023年4月1日から）
- ●こども救援センター（2025年度中に児童相談所設置へ）
- ●病児・病後児保育施設設置
- ●保育所（園）入所申し込み通年化
- ●育休対象児童の入所が可能

高齢者

- ●GPSで居場所を特定「はいかい高齢者救援システム」
- ●孤独死を防ぐ「あんしん見守りシステム」
- ●地域で見守る「高齢者あんしんセンター」



ぐんま愛

SINCE 1914

この街といきていく

おかげさまで、創立108周年。
高崎信用金庫は、創立以来変わらぬ姿勢で、この街とともに歩んでまいりました。
これまでも、これからも、地域のみなさまの豊かな暮らしのお手伝いに努めてまいります。

高崎信用金庫

在宅介護ステーション わかば
高崎市の補助事業「介護SOSサービス」
「ヤングケアラーSOS」を受託
介護のことならなんでもご相談ください
群馬県を中心に7つのサービス、59の介護事業所を展開しています。
ケアサプライシステムズ株式会社 TEL.027-360-5400
代表取締役社長 駒井 将人
群馬県高崎市島野町890-8 | https://caresup.co.jp/

Takasaki University of Health and Welfare
高崎健康福祉大学
農学部 生物生産学科 / 人間発達学部 子ども教育学科 / 健康福祉学部 社会福祉学科 医療情報学科 健康栄養学科 / 保健医療学部 看護学科 理学療法学科 / 薬学部 薬学科
〒370-0033 高崎市中大類町37-1 TEL.027-352-1290
https://www.takasaki-u.ac.jp

時計の正規販売店 エイチエフエイジ
GS Grand Seiko
HF-AGE WATCH GALLERY
HF-AGE 高崎店

TAKASAKI JIMAN
高崎オーパ 1F 駅側 「高崎」を食べつくそう！ 高崎じまん
高崎オーパ 7F 「おいしい！」を再発見 CAFE 高崎じまん
ご来店お待ちしています！
一般社団法人 高崎観光協会 高崎市八島町222 高崎モントレー2階 Tel.027-330-5333

地域の力 応援キャンペーン ぐんま愛 協賛社 （順不同）

EARTH CARE 株式会社アースケア
アイオー信用金庫
Aizawa Corporation
赤城自然園
あかぎ信用組合
あすかホール あすからいふ倶楽部
イソベモータース
糸井商事 糸井ホールディングス株式会社
カネコ種苗株式会社
カネコ種苗 ぐんまフラワーパーク
北群馬信用金庫
共愛学園 KYOAI GAKUEN
桐生信用金庫
桐生第一高等学校
KIRIN
クスリのマルエ
CLIMB CLIMB CO.,LTD.
株式会社群電
株式会社グンビル
群馬銀行
一般社団法人群馬県住宅協会
群馬県信用組合
群馬ダイハツ
群馬トヨタ
群馬トヨペット
群馬ナブコ
ぐんまみらい信用組合
Yakult 群馬ヤクルト販売㈱
ケアサプライシステムズ株式会社
佐田建設
JAグループ群馬
JESCO SUGAYA株式会社
しののめ信用金庫
住宅金融支援機構
上毛共済
STAR KOTSU
株式会社スナガ
株式会社成電社
第一生命 Dai-ichi Life Group
高崎霊園
高崎信用金庫
高崎ターミナルビル株式会社 Montres AZ E'site
天田社
東京海上日動
TOKYO GAS NETWORK
TOWA 東和銀行
利根郡信用金庫
TOYOTA WOODYOU HOME
トヨタカローラ群馬
ナルセグループ
日産サティオ群馬
日産プリンス群馬
株式会社日本キャンパック
JFC 日本政策金融公庫
日本生命
NEXUS
ネッツトヨタ群馬
はるる
富士スバル
冬木工業
プリエッセ
Primavera
星野興業
北海道電力株式会社
三高電機
株式会社目崎鉄工
メモリード
ヤマト
ようざん
株式会社ライフシステム
ららん藤岡
連合群馬